

第2回 令和8年熊本地震災害福井県支援本部会議

日時：令和8年8月6日（木）

16時30分～

場所：県庁10階 防災センター

次 第

1 開会

2 議題

- （1）被害の状況について
- （2）派遣職員からの報告
- （3）各部局の対応状況について
- （4）その他

3 閉会

第2回 令和 8 年熊本地震災害 福井県支援本部会議

令和 8 年 8 月 6 日(木) 16 : 30 ~

(1)

被害の状況について

(1)被害の状況について

○熊本県の被害状況（令和8年8月5日(水)16:00～第15回熊本県災害対策本部会議資料）

【人的・物的被害】

8月5日 14:00現在

区分	人的被害（人）							住家被害（棟）					
	死者	うち関連死	行方不明者	負傷者			合計	全壊	大規模半壊	半壊	一部破損	分類未確定	合計
				重傷	軽傷等	小計							
熊本県	38	1		20	123	143	181	699	20	1,025	6,187	6,631	14,562
八代市	20						20	320				2,180	2,500

- ・日本製紙八代工場にて、閉じ込められた11名全員の救助完了（うち9名は死亡）
- ・イオンモール熊本にて、12名救助し、うち5名は軽症、7名は死亡 ※救助活動終了

【ライフライン】

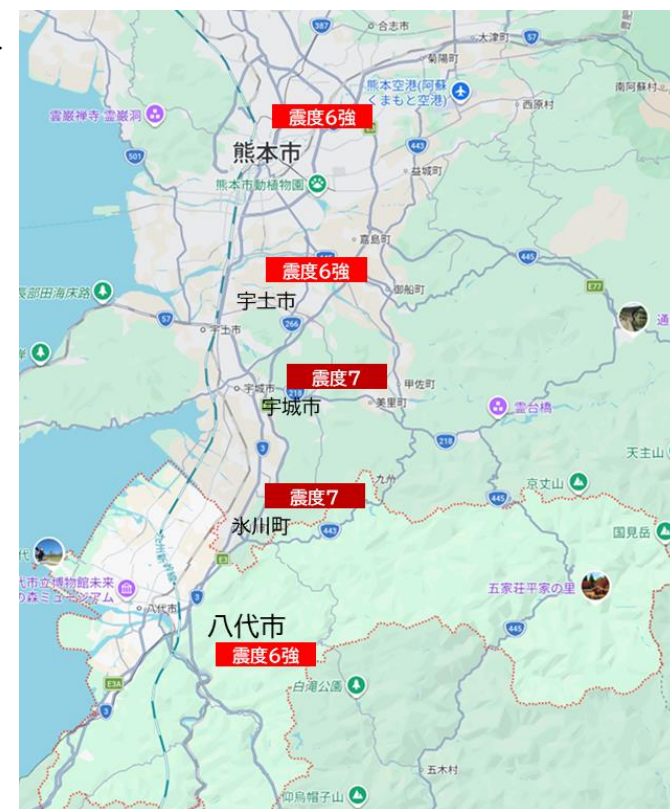
8月5日 14:00現在

区分	電気(戸)	断水(戸)	給水所(箇所)
熊本県	復旧済み	43,710	61
八代市	復旧済み	24,820	29

【避難に関する情報】

8月5日 14:00現在

区分	避難所数(最大)	避難者数(最大)
熊本県	133(466;7/28)	7,155(10,467;7/30)
八代市	42(63;7/31)	2,770(4,044; 8/2)



(2)

派遣職員からの報告

(2)派遣職員からの報告

○八代市内および周辺の被害状況(リエゾン撮影)



八代城の石垣の崩落



家屋の倒壊(氷川町)



神社の倒壊(八代市内)



家屋の倒壊(氷川町)

(2)派遣職員からの報告

○現地の方と協力したトイレトラックの設置状況(リエゾン撮影)



(3)

各部局の対応状況について

(3)各部局の対応状況について

1 防災安全部

○ リエゾン(先遣隊)派遣

業務内容： 八代市において情報収集、八代市災害対策本部、総括支援県(大分県)等との連絡調整 等

派遣人数： 4名(危機管理課・消防保安課職員)

派遣期間： 出発:8月3日(月) 現地活動:8月4日(火)～



8/4 八代市災害対策本部会議への出席



8/5 トイレトラック設置・使用開始

(3)各部局の対応状況について

1 防災安全部

○ 物的支援

8月4日(火)

・災害時応援協定締結先である(一社)福井県トラック協会、ソフトバンク(株)の協力を得て、水循環型シャワー3台、水循環型手洗いスタンド5台を熊本市総合体育館に発送(8/5到着)



物資発送の様子



物資積み込みの様子

※ 福井県はWOTA(株)との協定に基づき、「災害時の生活用水資機材の広域互助プラットフォーム」(JWAD)に連携
JWADからの要請に基づき熊本県にWOTABOX(水循環型シャワー)、WOSH(水循環型手洗い器)を配送
JWADが、被災市町のニーズを把握し、必要な避難所に配備

2 総務部

総務省からの要請に基づき、対口支援として、熊本県八代市に職員を派遣

業務内容： 罹災証明書発行業務等支援

派遣期間： 第1陣 8月 6日(木)～8月11日(火) 6名
第2陣 8月10日(月)～8月15日(土) 6名
(以降、当面の間、派遣予定)

※現地活動:8月7日(金)から

8/6 応援派遣職員の出発式



3 未来創造部

○ 災害ボランティア関係

(1)福井県災害ボランティアセンター連絡会の構成団体による現地調査(7/30～8/1、八代市、宇城市、氷川町)

- ・現在、災害ボランティアセンター開設(熊本市、八代市など11市町)



- ・今後、重機を使った作業など、専門性を持つボランティアへのニーズが高まると見込まれる

(2)福井県災害ボランティアセンター連絡会(県内関係団体17で構成)を開催(8/6)

- ・今後、県内のボランティア団体等が、熊本県内において活動すると見込まれることから、当該活動について、「災害ボランティア活動支援事業補助金」の対象とし支援を決定
- ・詳細について、会議終了後ホームページにて公表、本日から申請受付を開始

【参考】「災害ボランティア活動支援事業補助金」

補助対象:被災自治体や災害ボランティアセンター等の公的機関、地元地区住民団体等が必要としている活動

対象経費:ボランティア活動に直接必要となる幅広い経費

補助率:1/2 補助上限額:25万円

対象活動期間:令和8年10月31日まで

※ボランティア保険料については、上限の外数として全額補助

※重機等技術系ボランティア活動に使用する専門機器など一部の経費については、補助率10/10

(ただし上限20万円(全体上限25万円の内数))

(3)各部局の対応状況について

4 健康福祉部

○ DMAT派遣

DMATコーディネーター(被災地の調整本部等の運営支援を実施)

8月1日(土)から4名を順次派遣(1日(土)～8日(土)まで現地活動)

8月8日(土)に1名を派遣(9日(日)～13日(木)まで現地活動)

DMAT 3チーム(13名)を派遣

業務内容 : 熊本市、宇土市、宇城市、美里町において医療支援・救護活動 等

派遣期間 : 出発:8月4日(火) 現地活動:8月5日(水)～8月9日(日)

所属病院 : 福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井総合病院

本部支援(済生会熊本病院)の状況



福井県立病院DMATの出発式



○ 保健師等チーム派遣

派遣要請に備えて待機中 *派遣人員(1班:保健師2名、栄養士1名、ロジ1名) 計5班体制

○ その他(関係団体)

日本赤十字社福井県支部 救護班1班(9名)を熊本県支部に派遣(11日出発、12日～15日活動)

(3)各部局の対応状況について

5 土木部

○被災建築物応急危険度判定士の派遣

熊本県から国土交通省を通じて派遣要請があり、被災建築物応急危険度判定士4名を派遣

派遣先：熊本県熊本市

派遣職員：建築職職員4名（被災建築物応急危険度判定士）

派遣期間：8月8日（土）～10日（月）

活動内容：地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊や外壁・窓ガラスの落下などの危険性を判定。「危険（赤）」「要注意（黄）」「調査済（緑）」のステッカーを見やすい場所に貼り、居住者や歩行者などにその建築物の危険性について情報提供する。



R6能登半島地震時の活動の様子



R8熊本地震における応急危険度判定（氷川町の状況；リエゾン撮影）

6 県警察本部

生活安全部

派遣期間：8月7日(金)～8月18日(火)

① 被災者支援部隊：6名

(任務) 避難所を訪問し、被災者から相談を聞いたり、防犯指導を行う

② 特別自動車警ら部隊：4名

(任務) 被災地で警戒・警ら活動を行い、犯罪の未然防止にあたる

交通部

派遣期間：8月12日(水)～8月18日(火)

① 広域緊急援助隊(交通部隊)：9名

(任務) 被災地域への一般車両の流入規制や緊急車両の進入誘導等にあたる